

第7回 全日本セパタクロー団体対抗戦（チーム戦） 開催ガイドライン

一般社団法人 日本セパタクロー協会
医科学委員会

<本ガイドラインについて>

新型コロナウイルスの今後の感染状況によって、本ガイドラインを変更する可能性がある

<大会会場の入場について>

- ・本大会は【無観客】開催とし、大会出場選手、各クラブの監督コーチおよび大会運営関係者以外の大会会場への入場は不可とする
- ・大会出場選手、各クラブの監督コーチおよび大会運営関係者は大会開催前後各10日間（令和4年1月19日～2月10日まで）、オンラインツールにて所定の体温ならびに所定の健康情報に関する質問に回答すること
 - ※オンラインツールの利用方法に関しましては別紙にて案内（大会運営関係者および各クラブの監督コーチも選手と接触があるため選手と同様の管理のもと入場を可とする）
- ・入場者全員に対し体調チェックを行い、入場者はリストバンドにて識別を行う

<大会参加前の準備>

1. 準備期間の設定について
 - ・大会参加に向けて体調管理など十分な準備を行う
 - ・大会開催前後各10日間（令和4年1月19日～2月10日まで）にオンラインツールにて所定の体温ならびに所定の健康情報に関する質問に回答する
2. 大会当日の体調チェックについて
 - 大会当日の体調チェックを必ず実施し（自宅や宿泊施設で出発前に実施）以下の症状がある場合は大会参加を見合わせる（大会主催者側が出場を認めない場合もある）
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳、のどの痛み、倦怠感、息苦しさ
 - ・味覚や嗅覚異常などの体調異常
3. 選手自身が感染または感染者（疑いも含む）と濃厚接触があった場合の対応
 - ・大会開催前2週間以内に新型コロナウイルスに選手自身が感染した場合、大会への参加は認めない
 - ・感染者または感染が疑われる者と濃厚接触をした場合、以下の条件が大会前にすべて満たされている場合のみ参加が認められる
 - 感染者と濃厚接触した場合には、選手本人がPCR検査陰性および本人の症状がない
 - 感染が疑われる者と濃厚接触した場合は感染が疑われる者がPCR検査陰性および本人の症状がない

<大会期間中>

1. 会場入場時の体調チェックについて
 - 会場入口にて体調チェックを実施し、以下の症状がある場合は大会参加を見合わせる

- ・平熱を超える発熱
 - ・咳、のどの痛み、倦怠感、息苦しさ
 - ・味覚や嗅覚異常などの体調異常
 - ・体調チェック完了者が認識できるようにリストバンドを配布し、会場内では常時着用する
2. マスクの着用について
 - ・試合中、試合前2分練習およびウォーミングアップ中はマスクを着用しなくても良い
 - ・上記以外は会場内ではマスクを着用する
 - ・忘れた場合は会場入口にて購入し、入場する
 3. 会場内での注意点
 - ・こまめに手洗いと手指消毒を行う
 - ・大きな声での会話、応援等を行わない
 - ・食事中は黙食とし、他者と距離を取る
 - ・その他、感染防止のために協会や利用施設が決めたガイドライン、指示に従う
 4. 競技中の注意点
 - ・選手、監督、コーチ間での握手、ハイタッチ、抱き合う、集まって励まし合う等の行為を通常通りに行ってよい
 - ・試合開始時の整列、終了時の相手チームや審判との挨拶や握手も通常通り行う
 - ・ウォーターボトルやタオルなどの個人の備品は共有しない
 5. 大会出場選手、各クラブ監督およびコーチ（関係者含め、入場が認められている者）は初日敗戦となっても両日ともに入場は可能
 6. 大会初日終了後、急遽体調不良などが生じた場合、当該選手に加え、所属するレグまたはクラブの全員または一部に、翌日の大会参加を認めない場合がある
その際には大会参加費を返還する

<大会終了後>

- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスを発症した場合は日本セパタクロウ協会 医科学委員会 吉澤剛幸 tak1214@nms.ac.jp まで、速やかに報告をすること

<その他>

1. 大会参加にあたり、新型コロナウイルス接触確認アプリ【COCOA】(COVID-19 Contact-Confirming Application)のダウンロードを推奨する
2. アスレティックトレーナーブース利用時の注意
 - ・利用時は基本的な感染症対策を実施すること
(3密の回避、手指消毒の徹底、マスクの着用等)
 - ・コロナ対策のため大会中の怪我に対する処置、テーピング等の応急処置のみとしていたものを、コンディショニングなどの対応を再開する
 - ・1回の利用時間を15分以内とし、試合前は時間に余裕を持って利用すること
 - ・体温、入退室時間を利用者名簿へ記入すること